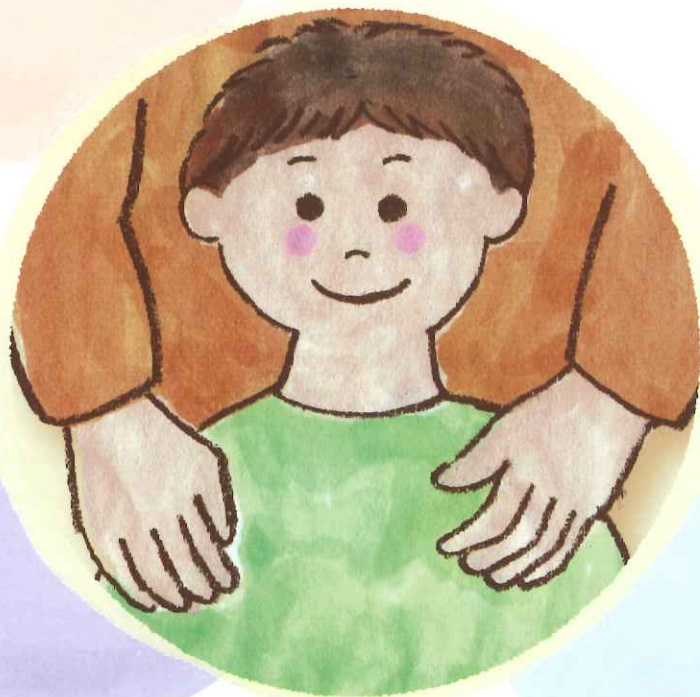


心も体も

叩かない子育て

推奨パンフレット



さいたま市私立保育園協会では、
子どもたちの健やかな育ちを願い
『心も体も叩かない子育て』を推奨しています。

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 発行
令和2年4月改訂版

さいたま市私立保育園協会加盟園 職員の3つの誓い

協会加盟園では、研修会などの学びを通して、
下記のことを心がけています。

・叩きません ・けなしません ・はずかしめません

昔から精神的、肉体的に苦痛を与えることで教育効果が向上したり、規律や統制が強化されるといふ考え方のもと、子育ての中で体罰や暴力的な言葉が用いられてきました。しかし現在では多くの臨床、発達の研究がその問題性を指摘し、先進国では体罰などに頼らない子育てが主流となりつつあります。

そして、むしろ子どもの発育にとっては、大人に肯定的に受け止められることや求めに丁寧に応じてもらうことなど、一人の人格を持った人間として尊重されることが良い影響を及ぼすことが科学的に証明されてきています。

そこで、さいたま市私立保育園協会では子育てに関する専門家集団として、保育園生活では勿論ですが、ご家庭での育児においても体罰や暴言、精神的抑圧、脅しやはずかしめなど、大人からの一方的な力で子どもを服従させようとする「**心も体も叩かない子育て**」を推奨しています。取り返しのつかない悲惨な虐待事件が多数報道される昨今、エスカレートしやすい体罰などの力に頼らず非暴力の子育てを共に目指しましょう。

子ども時代、体罰など一度も受けた事のない人たちが、社会で成功している事例は沢山あります。大人がきちんと分別を伝えることで体罰を使わずとも、わがままでない人、人の痛みのかかる人に育てる事はできるのです。

力で人を服従させる行為は子どもにも暴力や暴言で解決する方法を教えてしまい、将来的にいじめやDV(ドメスティック・バイオレンス)、我が子への虐待など、時と形を変えて更に弱者に向かって連鎖していきます。そうした負の連鎖を、私達の世代で共に断ち切りましょう。

また当協会では保護者の皆さんと共に「**心も体も叩かない子育て**」を推進していくために、我々保育者も「叩きません」「けなしません」「はずかしめません」の3つの誓いを掲げ日頃の保育で心掛けています。保育現場が多くの子園児と豊かな時間を過ごすために築いてきた子育てのノウハウをご家庭でも活用頂き、市内で更に満足度の高い、楽しい子育てが進むことを祈念しております。

さいたま市私立保育園協会

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会とは？

市内の私立認可保育園で構成された団体です。安全・安心で質の高い保育を基盤に、子どもの健やかな成長を保障する地域社会づくりを目指しています。

ホームページ

<http://saitama-hoiku.or.jp/>

体罰や暴言などの問題性

子どもの心身の発達に

マイナスの影響が指摘されています。

アメリカでの大規模な調査、Gershoff ET 2002 では、短期的には指示に従うものの、長期的に見ると、「攻撃性が強くなる」、「反社会的行動に走る」、「精神疾患を発病する」といった統計学的なマイナス面が指摘されています。また他に数多くの研究が体罰や暴言などの問題性を指摘しています。

一度使いだすと止まらなくなることがあります。

意図せずとも怪我を負わせ、重大な傷害や殺人へとエスカレートすることがあります。また被害児には身体だけでなく心に癒えにくい傷が残ることがあります。

暴力や暴言など、力で解決することを伝えてしまいます。

被害児は攻撃性が強くなり、将来いじめやDVなどの暴力に繋がる恐れがあります。そして力関係が逆転した時には、家庭内暴力として返ってくることもあります。

体罰や暴言では何が悪いかわかりません。

体罰や暴言で無理やり問題行動をとめても、ただ力におびえてやめているだけなので、根本的な解決になりません。むしろ力を行使する人がいない場合などは、問題行動がひどくなる場合があります。

人間関係が悪くなる傾向があります。

体罰や暴言は、自己を肯定するチカラを弱めるだけでなく、恐怖や憎しみといった負の感情を芽生えさせ、体罰を与える人への反発や反抗心を生じさせるため、人間関係を悪化させる傾向があります。



子ども達の健やかな育ちに何よりも大切なのは 「安心・安全」の環境です。

手をあげてしまう前にちょっと待って下さい!!

養育者も人間なので、感情的になる時だってあります。

イライラしてきた時、「一呼吸」置き自分なりにストレスの爆発を逃がす

下記の様な方法を見つけておきましょう!!

大きく深呼吸する

数を数える

音楽をかける

鏡を見る

ゆっくり動く、話す

手を流水で洗う、顔を洗う

などなど

別の部屋やトイレに移動する
(子どもが安全な状態でいれば)

子どもに「暴力や暴言で解決すること」
を伝えたいですか？

子どもは私達の希望であり未来です。嫌
なこと、伝えたいことを我慢する必要はあ
りません。「しつけ」は子どもの学びの支え
です。少し時間はかかりますが、『言葉、表
情、身振り手振り』で大人の想いを伝えま
しょう。

また、子どもの発する想いに耳を傾けて、
一緒になってどうしたら良いかを考えてあ
げて下さい。励まし、支援することで、子
ども自身が解決する方法を見つけていくこ
とが、本人の自立や自律につながります。

子どもの健やかな成長に何よりも大切な
のは、いつも安心・安全で居心地がよく、笑顔
で過ごせるような環境です。

子育てを楽しむ4つのポイント

子どもの良いところを探そう

「子育ては宝探しの長期戦」という言葉がありますが、その子らしさに寄り添いながら良いところをゆつたりと掘り当てていくような子育てができれば素敵だと思いませんか？しかし時間に追われる現代の子育てでは悪いところばかりを指摘し、すぐに直そうとする「あら探しの短期戦」となりがちです。

少し大らかに構えて子どもの良いところを意識的に探す習慣を身につけていきましょう。

混乱時はクールダウンを

かんしゃくを起こして混乱している最中は、我々大人でも他者の言葉は耳に届きにくいものです。そこで安全を確保した上で少し時間をおき、お互いにクールダウンする事を心がけましょう。自身も深呼吸し、子どもも落ち着きを取り戻した時に、改めて気持ちを伝え合しましょう。

欲求を満たす環境を

子どもの「やってみたい！」を大人が応援してあげる為にも、事前に想いや願いなどを伝え合い、ルール作りなどをすることが大切です。また子どもの欲求を満たしつつ、大人も許容できるような「環境(人、物、場所、時間など)」を用意できると、お互い良い気持ちになります。

一人で抱え込まないで

ワンオペ育児といった言葉が話題となりましたが、子育てを一人で頑張りすぎたり、悩みを自分だけで抱え込んだりしていませんか？

辛いとき、苦しいとき、一人で抱え込むと、そのストレスが子どもに向かってしまう事がよくあります。ぜひ困った時には誰かに相談することを心がけましょう。また相談できる人がいない場合、近隣の保育園や、下記の公的機関などをご活用下さい。

さいたま市内や全国の相談機関をご活用ください

● 子育て応援ダイヤル

【平日 9:00-12:00、13:00-17:00】

☎ 048-829-1943

子どもと一緒に遊びに行ける場所や子育てに関する各種制度、相談先など、必要な情報を調べて紹介します。

● さいたま市児童相談所（さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」4階）

【平日 8:30-18:00】

☎ 048-711-2416

児童に関する相談に応じ、問題解決に必要な指導、援助を行う機関です。

● 児童相談所 全国共通ダイヤル

【24時間対応】

☎ 189(いちはやく)

虐待かもと思ったら189(いちはやく)番へ。189番にかけるとお近くの児童相談所につながります。



子どもらしさって何？

- ・後先のことを考えず、興味本位で体が動く
- ・好奇心旺盛で何にでも興味を示す
- ・危ないことをしたがる
- ・狭い所に隠れたがる、高い所に上りたがる
- ・活動的で声がおおきい
- ・気分屋で喜怒哀楽がはっきりしている
- ・群れて遊びたがる
- ・自分を中心に世界が回っている etc...

ご自身の子ども時代を振り返ってみて下さい。うるさくて、汚くて、言うことを聞かない(笑)。そんな風に大人の考えた通りに、動いてくれないのが子ども本来の姿です。そういった乳幼児期の特性が無視され、「静かにして!」「動かないで!」「触らないで!」と、たえず子どもらしさを否定されたら、とても息苦しいものです。(※ 子どもの願望を全て叶えてあげる事を推奨している訳ではありません。一人の人間として自身の欲求を大切にしてもらうように、他者の欲求も大切にすることを子どもも学んでいかなければなりません。)

少子化が進み、地域で大人と子どもの出会いが減る中で、自分も子どもだった事をすっかり忘れてしまい、上記のような子どもの特性を許容できない大人が増えてはいませんか？

大人の数が多く目が行き届きすぎる社会の中で、大人が先回りして危険や失敗を排除してしまい、あまりに子どもの経験が貧しくなるとは

いませんか？

他人様に迷惑をかけない様にと、早く大人になることを強要するような社会の風潮の中で、子どもが生きにくい社会になってきてはいませんか？

「子ども」が「子ども時代」を「子どもらしく」過ごすこと。我々人類という種がわざわざ未熟な子ども時代を設けていることは、知能を高くするために選んだ生存戦略であり、意味のあることなのです。

いつか子どもが自立して世界に大きくはばたいていく未来のために。子どもの笑顔での挑戦を大人が温かく見守れるような地域作りを目指して、私立保育園協会は皆さんの子育てを応援していきます。

「子ども」が「子どもらしさ」を安心して発揮できる社会を、共に築いていきましょう。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

さいたま市私立保育園協会はオレンジリボン運動を支援・推進しています。



特定非営利活動法人 子どもすこやかサポートネット 監修協力